

鹿児島市及び連携中枢都市圏3市のNPO（市民活動団体）のご紹介



ご家族の一番の理解者としてあるために。

つるだ ちえみ だかだ まき
NPO法人オレンジハート（メンバー 鶴田 智恵美/高田 マキ）

NPO法人オレンジハートが日々の活動を行う場として設けている空間「オレンジ・テラス」。オレンジ・テラスは、認知症の啓発活動のカラーである“オレンジ”と、既存の認知症カフェ、いわゆる“オレンジカフェ”といわれる認知症に特化した相談等を受けられる場より間口を広げることを意図して“テラス”と名付けた。そんなオレンジハートの中心メンバーである高田さんと鶴田さんに話を伺った。

ご家族へのケアは十分か？ ボランティア活動からのスタート

もともと集まっているのは医療介護福祉のスタッフ。そこから上がってくる声は、認知症の増加と、介護のスタッフとして頑張っているが、介護の難しさを日々感じるという声。「私たちスタッフでもそう思うのに、そこに寄り添っているご家族はもっと大変だと思います。とはいえ、家族をケアしてくれる人はあまりいないのでは？ そんな疑問が法人設立のきっかけとなっています」。ご家族の悩みを相談できる場所や聴いてくれる存在があったら、どれだけの需要があるのか。その検証としてボランティア活動からスタートした。

高田さん：「作業療法士としてリハビリをする時、認知症の方にリハビリをするのは大変。そもそもリハビリをする目的から理解していただくことへのハードルは高く、拒否されることもあります。そこで認知症について勉強し、スタッフに伝えていくことで、だんだんとスタッフのレベルは向上し、ご家族から感謝の言葉もいただけるようにもなりました」

約1年間のボランティア活動の中で見えてきた課題や可能性を、より多くの事業所が集まることで知識を共有し、解決方法や提案の幅を広げたい。そんな想いから法人化に至り、現在3年目。「学び」、「交流」、「癒し」の3つのテーマをもとに月に1度、鹿児島市内で無料開催しているオレンジ・テラス。介護や認知症について学ぶ時間、ハンドマッサージや、アロマセラピー、ヨガなどで癒しを感じていただくコンテンツ、



認知症に対するケアの事例やご家族へのアドバイスによって気持ちが少しでも楽になれるヒントをお届けしている。オレンジハートとして今後より一層力を入れたいと考えることは、若年性認知症の方々への支援について。症状としては、物忘れや気分の落ち込みなど。多くの人は精神科へ行き、鬱だと診断されることもしばしば。

「どうしても“認知症”と聞くと高齢者を想像する方が多いと思います。しかし、最近増えているのは若年性（=65歳まで）認知症です。しかしその症状や可能性を病院側でさえ誤って見落としてしまい、誤ったまま過ごすことで症状が進むことが課題の一つです。だからこそ私たちはより多くの方に認知症を知ってもらうことが、現状の問題提起と貢献につながるのではないかと考えています。」

原点とわたしたちの役割

鶴田さん：これまでできていたことが出来なくなっていく祖父母の姿。寝たきりになった祖母を見たときに「私には何もできないのかな」と思ったことがこの仕事を選んだきっかけだという。仕事に苦勞する中で、ある日なかなかうまくコミュニケーションが取れなかった方から発せられた「ありがとう」。そんな魔法のような言葉で"今日も頑張ろう"そう、心から思えると話す。

高田さん：「介護の業界は3Kといわれ、離職率も確かに高いです。しかし介護を必要とする方がどんどん増えていくなかで、その介護を誰がこれから支えていくのか。それは現場の人たち、私たちでしょと思うんです。私たち自身もスキルを上げて仕事を楽しみながら誇りをもってやっていければ、介護業界自体も元気になって、スタッフも元気になるのではないかと考えています。それが今の私たちの役割なのかなと。」

働く中で起こる出来事一つひとつに楽しみや喜びを見出す力を持っているお二人。この在り方で支えてもらえたらどれだけご家族は安心だろうか。「気軽におしゃべりだけでも」そんな場所として開かれているオレンジ・テラスにぜひ足を運んでほしい。

NPO法人オレンジハート 団体概要

主な活動内容

「学び」、「癒やし」、「交流」の3つのテーマをもとに、ケアする側をケアする空間『オレンジ・テラス』の運営。ケアする側をケアする空間+認知症&介護予防支援を行う。（相談/講座/交流カフェ等の実施）



今後の展望・PRしたいこと

「学び/癒やし/交流」をテーマとして様々な事業所が集まって月1で開催している『オレンジ・テラス』。出張型オレンジ・テラスとして鹿児島県内各地を回る機会もついている。常設のオレンジ・テラスでは、介護に関する悩みや不安の相談、福祉サービスに関する相談が気軽にできるので、気軽に足を運んでほしい。

課題への取り組み

特に若年性認知症についての普及・啓発に力を入れたい。医療・福祉関係者も十分に認知できていない状況があり、うつ病や更年期と診断されることも多い。早期発見、早期治療につなげるため、まずは精神科、脳神経外科のどちらも受診していただきたい。オレンジ・テラスでは、日常生活のことや施設選びなどの相談にも対応しています。

お問い合わせ

- 団体名：NPO法人オレンジハート
- 代表：飯田 美智代
- Mail：orangeheart.tt@gmail.com
- ホームページ https://www.729729.jp//service_orange.php